

平成24年度～26年度 実績一覧

下線部分が前年度からの変更点

	H24	H25	H26
参加店	103店舗	121店舗	146店舗
マップの作成	①各市1冊、A5冊子タイプ ②発行部数17,500部	①3市1冊、A5折り畳みマップ ②発行部数40,000部	①3市1冊、A5冊子タイプ ②発行部数21,000部
窓口等での配布	①参加店、②管内3市経済主管課・健康主管課、③管内3市商工会・商工会議所、④JA東京みなみ、⑤保健所、⑥図書館・公民館等	左記①～⑥ <u>⑦観光協会、⑧信用金庫、⑨スポーツ祭東京宿泊施設</u>	左記①～⑦ <u>⑧診療所、歯科医院、薬局、⑨入浴施設、スポーツクラブ、理容組合等</u>
イベント等での配布	①各市イベント（永山フェスティバル、稲城まつり・健康フェア、日野市産業祭、たま食育フェスタ等） ②食品A講習会、更新講習会等	①各市イベント（永山フェスティバル、稲城くらしフェスタ・日野市大産業祭、たま食育フェスタ等）②食品A講習会、更新講習会等	①各市イベント（永山フェスティバル、稲城まつり・日野市産業祭、稲城くらしフェスタ、たま食育フェスタ等）②食品A講習会、更新講習会等
広報	①各市広報、②保健所ホームページ、③多摩テレビ、④日野ケーブルテレビ、⑤各市ミニバス	左記①～③	左記①～⑤、地域情報誌「もしもし新聞」、食協団体誌「東京の食品界」への記事掲載
啓発グッズ	①参加店にPOPを配布	左記① ②参加店向けグッドバランスメニュー通信の発行	左記①～②、③ステッカー、④野菜ポスターの作成・配布、⑤オリジナルティッシュ作成・配布
優秀メニュー	・「金賞」各市3店、計9店	・市民投票（市民祭） ・「金賞」各市3店、計9店 「市民特別賞」各市1店、計3店	・市民投票（市役所及び市民祭） ・「金賞」各市3店、計9店 「市民特別賞」各市1店、計3店
連携事業等	①みんなの栄養展（給食協会）※	①みんなの栄養展（給食協会）※②のほり旗作成（食協）、③地域活動栄養士（市成人式等）、④市「健康教室」 ⑤JA食育イベント、⑥日野NPOスタンプラリー、⑦スポーツ祭東京	左記①～⑤、⑥大学イベント及び事業、⑦多摩市ボランティアセンター、⑧多摩市老人会連合会、⑨多摩市給食センターシンポジウム、⑩多摩市学校保健会、⑪管内大学ネットワーク会議 等

※H25より「みんなの栄養展」は「たま食育フェスタ」で開催

成果と課題

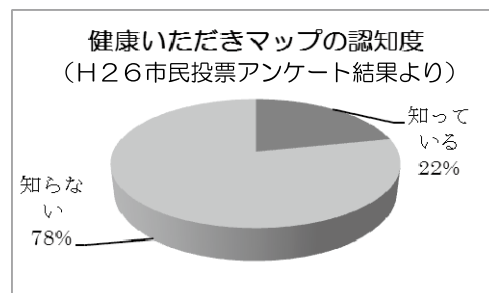
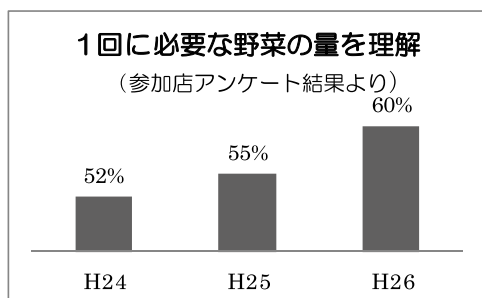
◇成果

1 グッドバランスメニューキャンペーンの充実

- 参加店は年々増加し、参加飲食店への情報発信により野菜必要量などの理解促進と参加意欲向上につながった。
- ケーブルテレビの放映、各市コミュニティバスでの広報活動や市役所やイベントにおける市民投票実施等によるキャンペーンの周知と普及啓発を強化できた。

2 ソーシャルキャピタル等との連携・推進

- 食品衛生協会、地域活動栄養士との連携、市民まつり等各市イベントや事業との連携を図れた。また、東京南農業協同組合、商工会、消費者ルーム等、経済主管課を通して従来の保健分野の枠を超えたソーシャルキャピタルとの連携・協働が広がった。
- 3師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）会員や理美容、公衆浴場を通しマップ配布場所の拡大につなげる連携ができた。
- 2市保健所と協働でポスターを作成し、同じ時期に活用することによる共同キャンペーンを実施できた。



◇27年度の課題

【27年度への課題】

- 1 キャンペーンの更なる周知による参加店の活性化
- 2 Webの充実と活用
- 3 関係団体やソーシャルキャピタル等との連携・協働の更なる推進
- 4 事業終了後のキャンペーンの継続実施等を関係機関と検討
- 5 「東京都野菜メニュー店普及促進事業」と本事業との調整

平成27年度 事業計画（案）

27年度も引き続き、関係機関と連携してキャンペーンを実施

（27年度は東京都「野菜メニュー店」事業と合わせて実施）

平成27年 4月：推進委員会（第1回）全体計画、募集内容、応募要領の検討等

5月～6月：参加店募集

7月～8月：推進委員会（第2回）マップ内容、優秀メニュー選考基準の検討等

9月：キャンペーン開始 マップ配布及び参加店でのメニュー提供開始

9月～11月：市民投票（各市イベント等）

推進委員会（第3回）優秀メニュー選考

表彰式

平成28年2月：推進委員会（第4回）事業評価等

平成26年度に作成した普及啓発媒体

【健康いただきマップ（26年度） A5判40P】

<表紙>



<参加店紹介ページ(抜粋)>



<マップページ>

